田川にすむ生きものたち

塩尻市立西小学校 5 年 1-2 組
信州大学理学部生物科学科 東城研究室

塩尻市の市街地に立地する塩尻西小学校5年生は、学校近くを流れる田川に注目し、様々な活動を展開してきました。その一環として、総合学習の時間を利用して、田川の水生生物を観察することになりました。2007 年 6 月 19 日の午前中、5 年生 2 クラスの児童(58名)と担任の先生、東城研究室とで、田川における水生生物観察会を実施しました。
この観察会の様子と、観察結果をパネル報告します。

★観察内容★

① 先ず、田川にはどのような生きものが棲息しているのか？「いろいろな生きものを見てみよう！」「たくさんの種類の生きものを探そう！」をキーワードに、網をもって駆け回りました。

② 6班×2 クラス(計12班)の班単位で、各班が自由に(ランダムに)調査場所を決め、30×30cm のコドラートを用いた定量サンプリングを経験しました。当初、あまりにも小さな範囲だけに、「この枠の中にどのくらいの数の虫が棲んでいるでしょうか？」の問いには「数匹！」「数十匹！」といった声があがっていました。
＊ちなみに、5 年 1 組の 6 班のデータでは、906 個体も採集されていました。種数や種ごとの個体数は、現在、解析中です。

定性調査の様子:
みんなで手網を用いて採集、分類表をみながら生きものを分けました。

定量調査の様子：

30cm×30cm のコドラートつき

サーバーネットを用いて川底の生

きものを採集しました。